

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (301), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ, ②目的, ③事業内容, ④達成目標, ⑦事業実施上の課題と対応.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定, 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	304	課コード	0402	会計種別	一般会計	予算の種類	政策	経常	なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	----	----	----

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	剪定枝木等のチップ化事業（放射能対策）		実施計画への位置づけ	●有 ○無	②部課名	環境経済部・クリーンセンター				
	③事業主体	●市 ○その他（ ）			④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐	■全市					
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	3人（換算人数）		0.4人				
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0千円		当該（開始）年度	（当初）	289,321千円（うち人件費 3,480千円）		（変更後）	千円（うち人件費 千円）		
	⑧施策の位置づけ	施策コード	12201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無	部門別計画への位置づけ	（計画名）	一般廃棄物対策基本計画		
(2) 目的	施策目的・展開方向	良好な生活環境を維持するため、定期的な環境調査や事業所などへの監視・指導を継続して行うとともに、路上喫煙、犬の糞害に対する指導、不法投棄と野焼きに対する監視や戸別指導を実施して、公害や生活環境の悪化を防止します。また、PM2.5や放射性物質などの新たな環境問題については、国、県、近隣自治			事業目的	公園の樹木・街路樹・学校などの公共施設や、一般家庭・事業所から出される剪定枝木等をチップ化し、福島第一原発事故による影響で利用が困難になったチップを一時保管するとともに、放射性物質濃度に配慮しながら焼却するが、それでも保管しきれないチップを最終処分するものです。						
(3) 事業内容	内容	<ul style="list-style-type: none"> 公園の樹木・街路樹・学校などの公共施設や、一般家庭・事業所から出される剪定枝木等をチップ化し、福島第一原発事故による影響で利用が困難になったチップを保管する。 自走式破砕機を大きなものに交換し、分別回収した草や落葉を破砕しチップ化したものを保管する。 チップが農地などで活用出来なくなったため、チップストックヤードが満杯になったことから最終処分を委託する。 福島第一原発事故により由来する放射性物質の影響により、通常の処理ができなくなった剪定枝木や雑草・落ち葉等の中間処理と3,500トンの処分委託をする。 			当該年度執行計画	<ul style="list-style-type: none"> 福島第一原発事故により、枝木チップが農家や家庭菜園で活用できなくなったため、分別回収している刈草等を剪定枝木とともにチップ化し、ストックヤードに一時保管する。 保管しているチップや搬入された枝木をチップ化し、放射能濃度の低いチップについては、焼却処理することでヤードの保管量を少ない状態で維持できるようにする。 						
		当該年度活動結果指標	チップ化処理・一時保管量	単位	t	想定値	500	実績値				
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該年度	公共施設及び街路樹・事業所・一般家庭から排出された刈草等及び剪定枝木をチップ化し一時保管する。保管場所のストック量が一定量となるよう焼却や最終処分を行っていく。				直接	刈草等及び剪定枝木のチップ化処理・一時保管量		t	1,000	500		
令和3年度	同上				直接	刈草等及び剪定枝木のチップ化処理・一時保管量		t		500		
令和4年度	同上				直接	刈草等及び剪定枝木のチップ化処理・一時保管量		t		500		
(7) 事業実施上の課題と対応	マルチング材・土壌改良材及び堆肥等については、ニーズによって大きさを要して活用を拡大を図っているが、生ごみ資源化堆肥との混合による堆肥利用を研究し、さらなる需要先の拡大を図る必要がある。東日本大震災後の福島第一原発事故による放射性物質拡散により、チップの安全性を確保できないため、需要先に配布することができない。				代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		* 剪定枝木・雑草等収集運搬及び破砕業務委託（東電）	剪定枝木等収集運搬及び破砕処理業務委託 27,021千円を含む 内訳 収集運搬業務委託 52,887千円 【債務負担】H29～H33 破砕処理業務委託 48,004千円	100,891	* 剪定枝木・雑草等収集運搬及び破砕業務委託（東電）	剪定枝木等収集運搬及び破砕処理業務委託 27,021千円を含む 内訳 収集運搬業務委託 53,372千円 【債務負担】H29～R3 破砕処理業務委託 48,867千円	102,239			* 剪定枝木・雑草等収集運搬及び破砕業務委託（東電）	剪定枝木等収集運搬及び破砕処理業務委託 27,021千円を含む 内訳 収集運搬業務委託 53,372千円 【債務負担】R4～R8 破砕処理業務委託 48,867千円	102,239
		* 枝木チップ運搬処分業務委託（東電）	270		* 枝木チップ運搬処分業務委託（東電）	180,950			* 枝木チップ運搬処分業務委託（東電）	270		
		* ストックヤード用水管養生委託（東電）	0		* ストックヤード用水管養生委託（東電）	270			* ストックヤード用水管養生委託（東電）	270		
予算（決算）額	合計		231,597	合計		285,841	合計		234,141	合計	234,141	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	
	一般財源		27,021			27,023			27,021		27,021	
その他の財源	□特会 □受益 □基金 ■その他		204,576	□特会 □受益 □基金 ■その他		258,818	□特会 □受益 □基金 ■その他		207,120	□特会 □受益 □基金 ■その他	207,120	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.3		0.4		0.3		0.3				
	正職員人件費	2,640		3,480		2,610		2,610				
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0				
	臨時職員賃金額	0		0		0		0				
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	234,237		289,321		236,751		236,751					
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	468.47千円/t		578.64千円/t									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討
	福島第一原発事故による放射能のため、チップ化された剪定枝木が土壌改良材・自家菜園・園芸・農家用基礎堆肥として活用を図ることが出来なくなったため、保管しきれないチップの最終処分が必要。				<ul style="list-style-type: none"> ○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった 				○要 ○不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		<その他の内容>		<その他の内容>		○要 ○不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	<ul style="list-style-type: none"> ○①事業計画時に市民の参画あり ○②事業実施時に市民の参画あり ○③管理・運営に市民の参画あり ○④市民の自主的な活動と連携している ●⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 		市民の皆様にも草や落ち葉等の分別回収に協力してもらう。		実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）		<ul style="list-style-type: none"> ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	<ul style="list-style-type: none"> □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 		自然環境に影響がないよう分析し基準以内の放射能濃度の枝木を処分していく。		実施した具体的な内容		<ul style="list-style-type: none"> ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった 		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (t)	目標値(b) (t)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		○①目標値達成 ○②目標値未達成	
	1,000	500	<ul style="list-style-type: none"> ■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である 		実績値(f) (t)	(f/b) × 100	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	<ul style="list-style-type: none"> □①国・県助成制度活用 □②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他 	実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c) × 100	<想定どおり削減できなかった原因>			
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0.17	単位	費用単位	<ul style="list-style-type: none"> ●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費 	実績値(h)	対目標値(%) (h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (306), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for current status and future directions.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (307), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details for fiscal year 2020.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria (necessity, participation, environment, etc.) and a checklist for improvement.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with checkboxes for progress, expansion, contraction, etc.

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善策及び展開方向 (Improvement measures and expansion direction).

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (308), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdowns for fiscal years 2019, 2020, 2021, and 2022.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a status legend (現状, 拡充, 縮小, etc.) and a space for comments and improvement strategies.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (310), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ, ②目的, ③事業内容, ④達成目標, ⑦事業実施上の課題と対応, ⑧施行事項, ⑨財源内訳, ⑩人件費等.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定, 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (311), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental impact, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns for 評価, 評価コメント, and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (312), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including ①事業名, ②目的, ③事業内容, ④達成目標, ⑤事業実施上の課題と対応, ⑥施行事項, ⑦財源内訳, ⑧人件費等.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定, 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (314), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (315), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (316), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for Section 1: 事業の概要 (PLAN). Includes sub-sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget and personnel data.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進) and a space for comments.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	317	課コード	0402	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	実施計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		②部課名	環境経済部・クリーンセンター				
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	平成17年度 ~			⑥担当職員数	4人 (換算人数) 0.5人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	4,585千円 (うち人件費 4,350千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	12201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 部門別計画への位置づけ (計画名) 一般廃棄物対策基本計画			
(2) 目的	施策目的・展開方向	良好な生活環境を維持するため、定期的な環境調査や事業所などへの監視・指導を継続して行うとともに、路上喫煙、犬の糞害に対する指導、不法投棄と野焼きに対する監視や戸別指導を実施して、公害や生活環境の悪化を防止します。また、PM2.5や放射性物質などの新たな環境問題については、国、県、近隣自治体と連携して啓発を実施する。 ・広報やHPを通し啓発を実施する。 ・ポイ捨てごみの多い場所でのポイ捨てごみ回収			事業目的	子どもをはじめ歩行者などへの危害を防止し、清潔で安全かつ快適な生活環境を確保する。					
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	通年・手賀沼周辺、その他ポイ捨てごみの多い地域でのごみの回収 ・重点地区内の吸殻定点調査。 ・広報・HP等でより一層の周知徹底。 ・劣化した重点地区路面シールの張替え					
					当該年度活動結果指標	ポイ捨てごみ回収の稼働日数	単位	日	想定値	12	実績値
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	路上喫煙の防止、喫煙者のマナー向上を図り、ポイ捨てされるたばこの吸殻の減少を目指す。				直接	定点調査結果(たばこの吸殻の数)		件	415	374	
令和3年度	同上				直接	同上		件		337	
令和4年度	同上				直接	同上		件		304	
(7) 事業実施上の課題と対応	路上喫煙禁止の取締り、ポイ捨てごみの回収、いずれも相応の人員が必要だが、予算上その確保が難しい。令和2年度は、職員で対応しているが、現業職員の退職者不補充の中、施策はおのずと縮小していく。令和3年度に代替案として業務委託を要望するが、不採択だと「さわやかな環境づくり条例」が単に存在するだけのものとなり				代替案検討	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		3号囃子囃子3名(1.0×3)		9,472	消耗品(路面シール)		220		消耗品(路面シール)		220
		消耗品(路面シール、他)		319	消耗品(シール貼付用プライマー)		15		消耗品(啓発用ポケットティッシュ)		27
		車両維持費		234					消耗品(啓発用携帯灰皿)3年ごと委託料		88
予算(決算)額	合計		10,025	合計		235	合計		335	合計	5,369
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%
	起債	充当率	0%	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%
	一般財源		10,025			235		335		5,369	
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.5		0.5		0.75		0			
	正職員人件費	4,400		4,350		6,525		0			
	嘱託職員報酬額	9,472		0		9,472		0			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	14,425		4,585		6,860		5,369				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	9.89千円/時間		382.08千円/日								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	近年、路上喫煙による他人への危害、受動喫煙による健康被害等が社会問題になっており、本市においても、市政への手紙等で路上喫煙を規制してほしいとの要望もあることから、さわやかな環境づくり条例の中に路上喫煙等の防止を盛り込み市民に周知することで、喫煙者のより一層のマナー向上を図るとともに、市民の安全な生活環境を確保する。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容			
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>			
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮			
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>			
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成				
	415	374	<input type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(件)	達成率(%) (b/f×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>			
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	<input type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input type="checkbox"/> ②現行体制での対応 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦その他 <input type="checkbox"/> ④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<想定どおり削減できなかった原因>			
	事業費削減率(%)		<削減の内容> 事業の見直し		<超過理由等>					
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下			
	8.16	単位 費用単位 件	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (e/h)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>			

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	318	課コード	0402	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	環境経済部・クリーンセンター				
	③事業主体	●市 ○その他 ()	④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ■全市							
	⑤事業期間	～	⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.55人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 25,055千円	当該(開始)年度	(当初)	24,848千円 (うち人件費 4,785千円)						
	⑧施策の位置づけ	施策コード 12102	重点プロジェクトへの位置づけ	重点1	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)		
(2) 目的	施策目的・展開方向	資源を大切に、資源の循環を進める暮らしを実現するため、市民、事業者、市が一体となって、総排出量の削減と福島第一原発事故以前の全国トップレベルの資源化率を回復するとともに、新たな廃棄物処理施設の整備に合わせた効果的かつ効果的なごみと資源の分別の研究などに取り組み、ごみの発生抑制を軸と市では、最終処分場がないため北茨城市にある最終処分場に不燃物及び汚泥の埋立を委託している。			事業目的	粗大ごみ処理施設から発生する不燃物及び汚泥を最終処分場に埋立処分するもの。					
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	・不燃物及び汚泥埋立 560m ³					
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)			指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値			
当該年度	不燃ごみの処理量の削減し、適正な埋立処分を行う。			直接	適正な埋立処分率	%	100	100			
令和3年度	不燃ごみの処理量の削減し、適正な埋立処分を行う。			直接	同上	%		100			
令和4年度	同上			直接	同上	%		100			
(7) 事業実施上の課題と対応	一般廃棄物を自区域外に処分する場合には、最終処分場のある市町村との協議に基づき合意を得る必要がある。不燃物類に含まれるセトモノ類の資源化を研究し削減を図る。			代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		内容	金額(千円)	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	
		不燃物及び汚泥処分 320m ³ ×32,000円×1.08=11,059,200 250m ³ ×32,000円×1.1=8,800,000 環境保全負担金 北茨城市までの旅費 有料道路料金	19,860	不燃物及び汚泥処分 560m ³ ×32,000円×1.1 環境保全負担金 北茨城市までの旅費 有料道路料金	19,712	318 3 30	不燃物及び汚泥処分 560m ³ ×32,000円×1.1 環境保全負担金 北茨城市までの旅費 有料道路料金	19,712	318 3 30	不燃物及び汚泥処分 560m ³ ×32,000円×1.1 環境保全負担金 北茨城市までの旅費 有料道路料金	19,712
		合計	20,215	合計	20,063	合計	20,063	合計	20,063		
		補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
(9) 財源内訳	国庫支出金 補助率 0% 0		県支出金 補助率 0% 0		起債 充当率 0% 0		一般財源 20,215		その他の財源 □特会 □受益 □基金 □その他 0		
(10) 人件費等	換算人数(人) 0.55		正職員人件費 4,840		嘱託職員報酬額 0		臨時職員賃金額 0		事業費(予算(決算)額+正職員人件費) 25,055		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	43.96千円/㎡		44.37千円/㎡								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
必要性	評価項目	事前評価			事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
	(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	粗大ごみ処理施設から発生する不燃物及び汚泥は、リサイクルできないため最終処分場に埋立処分するもの。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因＞				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ○②自治体である市が推進すべきである (理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他			□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 ＜その他の内容＞				○要 ○不要
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？ (体制づくり)	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容
	環境への配慮	配慮の視点			取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮
効率性	(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成 ＜目標を達成した理由/未達成となった原因＞	
	(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった ＜想定どおり削減できなかった原因＞	
	(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 ＜目標値以上となった理由/目標値以下であった原因＞	

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善案及び展開方向				

事務事業評価表(令和2年度)

Header table with columns: 事業コード (319), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要(PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdowns for fiscal years 31, 2, 3, and 4.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes criteria for (1) 事業が今必要である理由, (2) 市が実施する必要性, (3) 参加・協働の工夫, (4) 環境への配慮, (5) 目標設定は適切か?, (6) 事業費削減の工夫, and (7) 目標値を実現する為に.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns for 評価コメント and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (320), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown by year (Heisei 31, Reiwa 2, 3, 4).

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (321), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (322), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (323), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a progress status legend and a space for comments and improvement directions.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1938), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main body table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget and personnel data.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns for 評価 and 改善策及び展開方向. Includes a section for 評価コメント.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (2180), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget breakdown for fiscal years 2019, 2020, 2021, and 2022.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a progress status legend and a space for comments and improvement strategies.